

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年10月15日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	9月の価格情報				10月の価格情報		10月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	11月の主産地	生育及び価格の11月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	10月上旬	10月					
		中旬	下旬								
葉茎菜類	キャベツ	77.90	74	74	77.90	82	・12.47t (106%)	千葉(32)、茨城(25)	↑	千葉産は、現在の出荷は平年並みであるものの、台風24号の影響により一部に塩害がでていることから、今後は平年を下回る出荷の見込み。茨城産は、現在の出荷は平年並みであるものの、台風24号の影響により根を持ち上げられて小玉傾向になっていることに加え、外葉に傷みがでて正品率が下がっていることから、今後は平年を下回る出荷の見込み。	
		88.91	78	78	88.91	87	・4.737t (108%)	愛知(39)、茨城(29)		千葉産及び茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均並みの価格は、平均を上回って推移する見込み。	
	たまねぎ	81.54	98	91	81.54	90	・7.241t (106%)	北海道(95)	→	北海道産は、収穫作業は概ね終了し、貯蔵ものの計画的な出荷となっている。6月下旬以降の長雨・日照不足の影響により産地によって作柄にバラツキがでているものの、総じて平年作であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		81.54	104	95	81.54	96	・3.142t (103%)	北海道(81)		北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	287.00	452	381	136.25	460	・2.061t (87%)	青森(16)、茨城(13)	→	青森産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、台風24号の影響により倒伏や折損により正品率が下がっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		462.77	831	815	467.01	780	・131t (76%)	香川(26)、徳島(20)		青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が下がる中、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	はくさい	86.06	99	112	86.06	127	・7.902t (104%)	茨城(81)	→	茨城産は、台風24号の影響により根を持ち上げられて小玉傾向になっていることに加え、外葉に傷みがでて正品率が下がっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		88.72	100	114	88.72	132	・4.120t (94%)	茨城(63)、長野(25)		9月下旬から徐々に値を上げて現在平均を上回る価格は、茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	ほうれんそう	583.95	922	633	423.62	704	・539t (87%)	群馬(32)、茨城(26)	→	群馬産及び茨城産は、9月の曇雨天で生育が遅れていることに加え、台風24号の影響により葉に傷みがでて正品率が下がっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		670.86	921	844	507.91	817	・207t (82%)	岐阜(48)、福岡(21)		群馬産及び茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が下がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	レタス (結球)	158.27	130	142	158.27	160	・4.093t (106%)	茨城(65)、長崎(10)	↑	茨城産は、現在の出荷は平年並みであるものの、台風24号の影響により外葉に傷みがでて正品率が下がっていることから、今後は平年を下回る出荷の見込み。出荷開始を迎える長崎産は、台風の影響で根が傷んでいる可能性はあるものの、概ね順調な生育であることから、平年並みの出荷の見込み。	
		152.57	140	159	152.57	178	・1.306t (130%)	兵庫(36)、長崎(32)		9月に入って徐々に値を上げて現在平均並みの価格は、長崎産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、今後は平均を上回って推移する見込み。	
果菜類	きゅうり	232.28	390	344	289.03	355	・4.368t (111%)	埼玉(30)、群馬(24)	→	埼玉産は、7月中旬以降の高温・少雨により樹勢が低下している中で、9月以降の曇天や台風の影響で生育が遅延していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。群馬産は、9月以降の曇天により生育が遅延していることに加え、台風24号の影響により病害が発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		244.44	409	354	298.96	393	・900t (100%)	宮崎(32)、佐賀(25)		埼玉産及び群馬産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が上がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	トマト (大玉)	265.08	434	424	364.78	410	・4.147t (117%)	熊本(29)、千葉(20)	→	熊本産は、台風24号及び25号によるハウスの損壊を避けるため被覆を遅らせたことに伴う生育の遅れに加え、病害も発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。千葉産は、8月の高温の影響による着果不良の段となっていることに加え、9月以降の曇天の影響で着色が遅れていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		298.46	419	429	371.67	455	・1.232t (108%)	熊本(55)、北海道(13)		熊本産及び千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が上がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	なす	242.04	483	351	301.00	343	・1.451t (86%)	高知(83)	→	高知産は、台風24号の影響で塩害が出たことに加え、擦れ果が発生し、正品率が低下していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		232.81	452	389	263.21	375	・401t (64%)	高知(40)、福岡(22)		高知産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が上がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	ピーマン	276.76	415	412	276.76	433	・1.159t (111%)	茨城(51)、宮崎(23)	→	茨城産は、9月以降の曇天で花落ちしていることに加え、10月に入り気温の変化が大きく生育に影響がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。宮崎産は、台風24号の影響で一部のハウスが倒壊したり、浸水被害で再定植になっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		296.27	431	428	296.27	450	・357t (95%)	宮崎(26)、鹿児島(25)		茨城産及び宮崎産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	根菜類	だいこん	94.60	106	104	67.55	99	・5.249t (114%)	千葉(55)、青森(18)	→	千葉産は、現在の出荷は平年並みであるものの、台風24号の影響により塩害が発生していることから、今後は平年を下回る出荷の見込み。青森産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
			90.60	105	104	76.48	107	・2.295t (90%)	長崎(20)、鹿児島(14)		青森産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、10月から平均価格が下がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
		にんじん	123.08	180	194	123.08	205	・4.007t (88%)	千葉(50)、北海道(27)	→	北海道産は、出荷終盤を迎える中、6月下旬以降の長雨・日照不足による生育停滞等に加え、7月中旬以降の高温・少雨の影響で小ぶりになっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。後継産地の千葉産は、播種後の強風による欠株や高温による品質低下に加え、台風24号の影響により塩害が発生していることから、平年を下回る出荷の見込み。
	123.11		179	192	123.11	213	・1.720t (102%)	北海道(65)、長崎(26)	流通在庫が徐々に減少する中で、9月に入り値を上げて現在平均を上回る価格は、北海道産及び千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、引き続き平均を上回って推移する見込み。		

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、赤字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載している下記URLを参照。
URL : https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	9月の価格情報				10月の価格情報		10月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	11月の主産地	生育及び価格の11月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	10月上旬				
		中旬	下旬							
いも類	さといも	280.27	299	302	232.02	302	・394t (78%)	埼玉(57)、千葉(12)		埼玉産は、9月以降の曇雨天に加え、台風24号の影響により葉が倒されたため生育が遅延していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。千葉産は、9月以降の曇雨天の中、病害が発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。
		(107%)	(108%)	(130%)	347	・85t (66%)	愛媛(58)、福井(19)			
	ばれいしょ	117.36	120	112	92.33	113	・3.663t (102%)	北海道(98)		北海道産は、収穫作業は概ね終了し、貯蔵ものの計画的な出荷となっている。6月下旬以降の長雨・日照不足や7月中旬以降の高温・少雨の影響により一部が小玉傾向となっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。
		(102%)	(95%)	(122%)	106	・1.710t (107%)	北海道(75)			
(102%)	(91%)	(115%)								

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。
 2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
 6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載している下記URLを参照。
 URL: https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	9月の価格情報				10月の価格情報		10月上旬の東京及び大阪市場の入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	11月の主産地	生育及び価格の11月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	10月上旬				
		中旬	下旬							
野菜類	ブロッコリー	384.87	578	498	286.55	483	・456t (110%)	埼玉(20)、香川(17)		埼玉産は、9月以降の曇雨天で病害が発生していることに加え、台風24号による影響で茎が曲がるなど正品率が低下していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。出荷開始を迎える香川産は、9月以降の降雨で定植が遅れていることに加え、台風24号による影響で葉の損傷による正品率の低下や、根傷みが発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。
		(150%)	(129%)	(169%)	529	・161t (126%)	徳島(31)、北海道(19)			
(140%)	(123%)	(148%)								

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成25～29年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
 6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載している下記URLを参照。
 URL: https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html 今般の大雨により生育・出荷に影響が生じる可能性があります。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。

※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。